

【福島県葛尾村】

校務DX計画

本村では、国の GIGA スクール構想に基づき、令和2年度から村内全ての小中学校で1人1台端末を導入し、校内通信ネットワーク環境の整備や、クラウドサービスの積極的活用など、急速に変化するデジタル社会に対応する ICT 環境を整備し、子どもたちの発達段階に応じた情報活用能力の育成や探究的な学習活動の充実に努めてきた。

今後についても、「GIGA スクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議」の提言や「GIGA スクール構想の下で校務 DX 化チェックリスト」による自己点検の結果等を踏まえた上で、教職員の働き方改革の一環として、校務 DX に係る具体的な取組を次のとおり定める。

1 次世代型校務支援システムの導入検討

葛尾村では、現在校務支援システムは未導入だが、グループウェア、クラウドツールを活用し、会議資料のペーパーレス化、コミュニケーションの迅速化・活性化につながっている。

今後は、学校現場における課題・ニーズを把握し、校務支援システムの導入の有無について検討を行っていく。

2 FAX・押印の見直し

葛尾村では「学校と教育委員会間」、「教職員間」、「学校間」においてメールやファイルサーバーによる文書や資料等、データの授受を行っているが、外部団体等との連絡に FAX を使用しているケースがある。

また、押印については、教育委員会内で押印を求めている業務や書類の有無と見直しの可否等現状を把握し、押印ルールの見直しを図っていく。